

お子様がインターネットを利用されるご家族の方に

知ってほしい
5つのこと

福井県教育委員会
福井県PTA連合会

福井大学子ども心の発達研究センター

1 おうちの方からは、お子様のネット利用について、こんな悩みが寄せられています。

●ゲームに夢中になって、何を言ってもやめようとしません。
(9歳男子の父親)

●ひんばんに曲をダウンロードしている。料金が加算されている自覚がない。
(11歳女子の父親)

●フィルタリングをかけたけど、みんなはしていないから、はずしてほしいと頼まれた。
(12歳女子の母親)

●ケータイで、誰と電話やメールのやり取りをしているのかがわからず、不安。
(13歳男子の母親)

●お風呂の中にまで、スマホを持ち込んで、着信を待っている。
(14歳女子の父親)

●1日中、部屋にこもって通信型ゲームに没頭するので、機器を取り上げたら、暴れた。
(15歳男子の母親)

2 ネットにのめり込んでいくお子様が、深刻なトラブルに巻き込まれています。

ネットのトラブル



ゲーム・SNS依存



自撮り画像・動画の流出



ネットいじめ



高額請求



性や暴力表現などの有害情報の視聴

3

お子様が被害者だけでなく、
加害者になってしまう事例も起きています。

ネット犯罪

違法ダウンロード
＜著作権の侵害＞



違法サイトや違法ソフトと知りつつ、ゲーム等をダウンロードするのは重大な違法行為です。

悪口の書き込み
＜名誉棄損・侮辱罪＞



軽い気持ちで書き込んだ言葉も、相手をひどく傷つけてしまう場合があります。

「うちの子にかぎって・・・」は禁物です。

悪ふざけ投稿
＜威力業務妨害＞



「注目を浴びたい」という理由で、SNSを使った不適切な写真の投稿が目立っています。軽はずみな行為で、人生を台無しにしてしまいます。

犯行予告
＜脅迫罪＞



「みんなが慌てるのを見たい」という理由で、犯行予告を掲示板などに書き込む事例が増えています。大事件に発展する恐れがあります。



福井大学子ども心の発達研究センター 松崎秀夫教授のコメント

普段から、おうちの方が日常のマナーや社会のルールを守ることの大切さをお子様に伝えることが重要です。

4

ルールについて、
ご家庭での話し合いが大切です。

ご家庭のルールの具体例



適正な使用時間や時間帯を決める。



保護者の目の届く所で利用する。



名前・写真・学校名などは書き込まない。



ルールが守られなかったときにどうするかも決めておく。

ご家庭で話し合いを

お子様の成長とともにルールを少しずつ見直していく。



福井大学子どものこころの発達研究センター 松崎秀夫教授のコメント

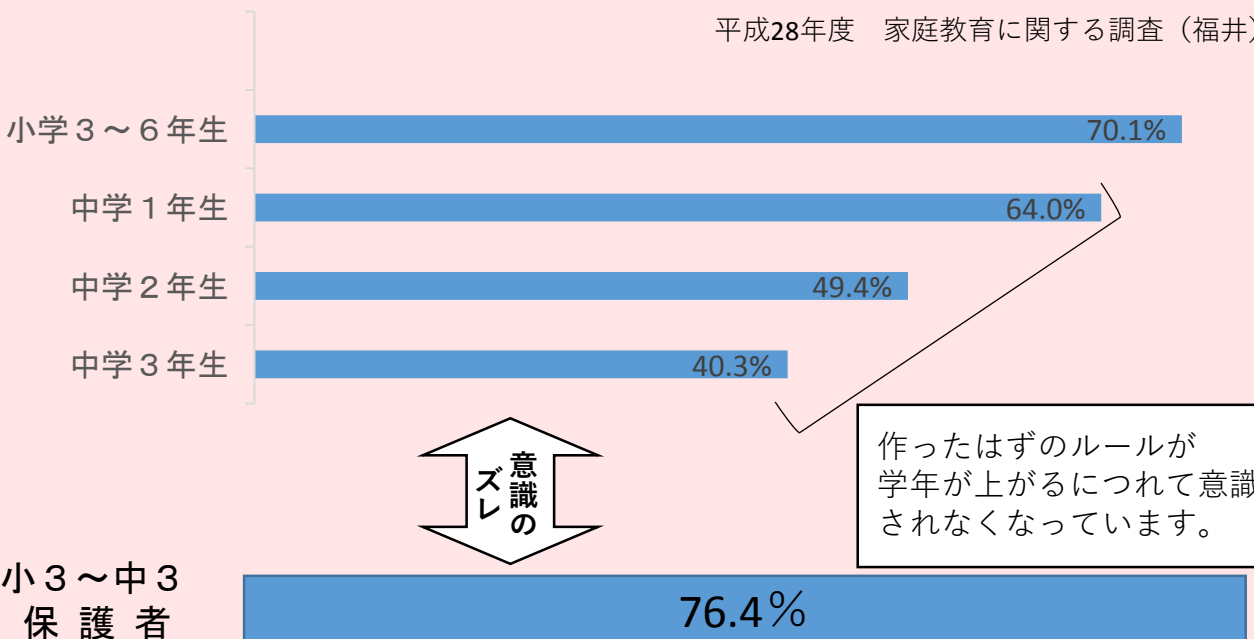


ネット依存は、ご家庭での工夫次第で予防できます。依存に陥ることを避けるため、ご家庭でネットを利用するときは、お子様だけでなく、家族全員でルールを作り、皆で守ることの徹底を図りましょう。「自分のうちだけ…」にならないように、保護者同士の連携もたいへん効果的です。

ルールを作っただけになっていませんか？
おうちの方とお子様の意識に差があります。ルールを作った後の「見守り」と「見直し」が大切です。

「あなたの家ではインターネットを利用するときのルールがありますか？」の質問に「ある」と答えた割合

平成28年度 家庭教育に関する調査（福井）

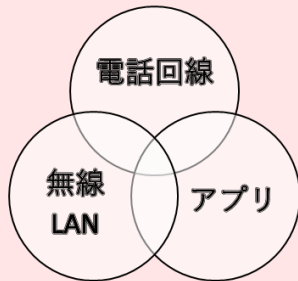


5

「フィルタリング」がお子様を守ります。

ネット被害児童の約90%がフィルタリングを利用していませんでした。

(平成28年におけるコミュニティサイト等に起因する事犯の現状と対策について 警察庁広報資料)



フィルタリング

有害サイトへの接続を防ぎます。電話回線、無線LAN、アプリそれぞれにフィルタリングが必要です。



ネット依存症のチェックリスト

～あてはまるところがないか、家族でチェックしてみましょう～

- ケータイ・スマホの着信をいつも気にしている。
- 他のことよりも、メールやSNSのチェックを優先する。
- 何をやる時でもケータイやスマホを手から離さない。
- ネット利用のせいで、約束や役割を忘れてしまう。
- 家族や友達と過ごすことより、ネット利用を優先する。
- ネットの時間が長く、睡眠や学習がおろそかになり成績が下がる。
- ネットを使っているときに邪魔されると怒ったり、イライラしたりする。
- ネット利用の時間・内容を人に隠そうとする。
- 料金や使用料などがだんだん増えている。
- ネット利用のルールを作っても、守られないことがある。

ご心配な点は、学校や裏面の相談機関等にご相談ください。

福井大学子どものこころの発達研究センター 松崎秀夫教授のコメント



ネット依存は世界各国で増えています。しかし、決定的な治療法がなく、わが国でも専門医療機関はごくわずかです。違法行為でないために軽視されがちですが、子どもの発達には深刻な影響を与えます。

お子様のネット依存症の予防策として、以下のことが挙げられます。

- ①ほかの人との会話や遊びを大切にする。
- ②週に一度はネット利用をしない日を設ける。
- ③ネット以外に熱中できるスポーツや文化活動を見つける。
- ④ネット利用の危険性について正しい情報を得る。
- ⑤お子様がまねをしないように、
おうちの方が健全なネット利用の見本となる。

普段からお子様の様子に気を配り、学校での出来事や関心を持っていることなどを話題に、ご家庭での会話を大切にしましょう。

福井大学子どもこころの発達研究センター 松崎秀夫教授のコメント



相談機関

■いじめ問題等の相談窓口

子どもや保護者からのいじめ問題等の相談を受け付ける窓口です。

- 「24時間子供SOSダイヤル」
0120-0-78310
- 福井県子どもの人権110番
0120-007-110

■ネット依存等の相談窓口

- ホッとサポートふくい（こころの相談）
0776-26-4400
- 福井県教育総合研究所教育相談センター
0776-51-0511
- 福井県嶺南教育事務所教育相談室
0770-56-1310

■不当請求や架空請求に関する相談窓口

- 福井県消費生活センター
0776-22-1102
- 嶺南消費生活センター
0770-52-7830

■福井少年サポートセンター

子どもや保護者が警察に相談する窓口です。

- ヤングテレホン
0120-783-214
0776-24-4970

作成 福井県教育庁義務教育課
協力 福井県PTA連合会
福井大学子ども
こころの発達研究センター
発行 平成29年7月

[問い合わせ先]

福井県教育庁義務教育課

〒910-8580 福井県福井市大手3丁目17番1号

TEL.0776-20-0574 FAX.0776-20-0671